

「平成30年度全国学力・学習状況調査及び岡山県学力・学習状況調査結果について

1 調査の実施

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査日

平成30年4月17日（火）

(3) 本市の参加状況

○全国学力・学習状況調査 <県：小学校16,270人 中学校15,737人>

	参加児童数	参加生徒数
平成30年度	小学校6年生 418人	中学校3年生 452人

○岡山県学力・学習状況調査

	参加児童数	参加生徒数
平成30年度	小学校3年生 388人	中学校1年生 381人
	小学校4年生 411人	中学校2年生 386人
	小学校5年生 401人	

2 本市の学力状況について

(1) 全国学力・学習状況調査

数値は平均正答率（％）

	小学校						中学校					
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	全体	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	全体
玉野市	70	54	61	48	61	58.8	76	58	65	45	66	62.0
岡山県	71	54	62	50	60	59.4	76	59	65	44	66	62.0
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	60.1	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	63.3
県との差	-1	0	-1	-2	+1	-0.6	0	-1	0	+1	0	0

○小学校においては、国語、算数ともに、県平均、全国平均を下回っているが、理科は県平均、全国平均を上回っている。この学年の昨年度の県学テと比較すると県との差は大幅に縮小している。

○中学校においては、全国平均を若干下回っているものの、国語、数学、理科それぞれで県平均とほぼ同等である。

## (2) 岡山県学力・学習状況調査

※本調査は、全国値の正答率を50としたときの換算率（標準スコア）を用いる。

なお、全国値は、調査結果返却時点の値である。

	小学校3年生		小学校4年生		小学校5年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
玉野市	48	47	49	48	48	48
岡山県	50	49	50	49	49	49
県との差	-2	-2	-1	-1	-1	-1

	中学校1年生		中学校2年生		
	国語	数学	国語	数学	英語
玉野市	48	51	51	52	52
岡山県	50	50	51	52	51
県との差	-2	+1	0	0	+1

○小学校においては、国語、算数ともに県平均を下回っている。

○中学校においては、第1学年の国語では、県平均を下回っているものの、国語、数学ともに県平均を上回っている。

### < 課題 >

- 問題文を正確に読み取り、理論的に自分の考えをまとめ、表現することが苦手であること。
- 国語においては比較的長い文章を読み取り、わかったことや考えたことを条件に合わせて記述する問題が苦手であり、無回答率が高いこと。
- 算数においては、図形や割合、単位量あたりについて苦手な傾向が続いていること。

## 3 児童・生徒質問紙調査から見える本市の特徴について

### < 小学校5年生 >

- ・授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと回答した児童の割合が県平均よりも多い。
- ・授業では自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたという質問に対して肯定的に回答した児童の割合が85%で県平均より4ポイント高い。
- ・自分で進んで勉強する、計画を立てて勉強をするという質問に対して肯定的に回答して

いる割合が県平均を下回っている。

- ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのが難しいと感じている児童が65%と高い。
- ・自分によいところがある、友達や先生、家の人から認められているという質問に対して肯定的に回答している割合が、県平均を下回っている。
- ・平日、1日あたりに1時間以上ゲームをしている児童の割合が62%であり、県平均よりも6ポイント高い。
- ・平日1時間以上勉強している児童が71%と昨年度の5年生よりも5ポイント高いが、県平均は4ポイント下回っており、休日勉強している時間が1時間以上の児童の割合も47%であり、県平均より8ポイント低い。

#### <小学校6年生>

- ・自分にはよいところがある、よいところを認めてくれていると回答した児童の割合が6～10ポイント県平均より低い。
- ・家で学校の宿題をしている児童の割合は約90%と多い。予習・復習をしていると答えた児童の割合は約65%と県平均・全国平均を上回っている。
- ・平日1時間以上学習している児童は73%と全国平均を7ポイント上回っている。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した児童が県平均・全国平均より5ポイント低いが、自分の考えがうまく伝わるように話の組み立てなどを工夫して発表していたと回答した児童は平均を上回っている。
- ・どの教科も、調査問題の解答時間がやや足りない、全く足りないと答えた児童が、全国平均よりも5ポイント程度高い。特に算数B問題では、足りないと答えた児童が41%と、全国平均よりも7ポイント高く、回答に時間を要している児童が多い。

#### <中学校1年生>

- ・将来の夢や目標を持っていると回答した生徒が90%と県平均よりも4ポイント高い。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれているという質問について当てはまらないと答えた生徒はおらず、肯定的に回答した生徒がほとんどである。
- ・授業の中でめあてが示されていた、振り返りを行っていたと答えた生徒の割合が県平均より高い。
- ・授業の中で、じっくり考える時間があつた、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと回答した生徒の割合が多く、「学び合い」に積極的に取り組んでいる状況があらわれている。
- ・普段（月～金曜日）、学校の授業時間以外に1時間以上勉強をしている生徒は81%と、県平均と同等であるが、土曜、日曜日になると52%に下がり、県平均よりも6ポイント低い。

#### <中学校2年生>

- ・生活行動の調査については、ほとんどの質問で、県平均よりも肯定的に答えた生徒の割合が高い。
- ・将来の夢や目標を持っている、学校に行くのは楽しい、地域が好きである、自分のことが好きであると答えた生徒の割合が高い。また、友だちや先生から認められていると感じている生徒の割合も県平均よりも高い。
- ・話し合いで、自分の考えを積極的に話している生徒が県平均よりも9ポイント高い。
- ・授業のはじめに目標が示されていた、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行

っていた等、教員が意識すべき授業づくりの基本に関わる項目の肯定的な回答率が総じて県平均より3～9ポイント高い。

< 中学校3年生 >

- ・将来の夢や目標を持っていると答えている生徒は75%以上と多い。
- ・家で学校の宿題はしている生徒は93%と全国・県平均よりも多いが、予習・復習をしている生徒は県平均を上回っているものの、全国より少ない。
- ・普段（月～金曜日）、学校の授業時間以外に1時間以上勉強をしている生徒は60%と、昨年の中3と比べると10ポイント程度高いが、全国平均よりは10ポイント少ない。
- ・地域との関わりに関する全ての項目（ボランティア・行事への参加・人との関わり等）について、県平均・全国平均を上回っている。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた、自分の考えがうまく伝わるように話の組み立てなどを工夫して発表していたと回答した生徒は県平均・全国平均を上回っている。
- ・授業の中で生徒間で話し合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した生徒が81%と全国平均より5ポイント高い。

< 課題 >

- 宿題をしているにも関わらず家庭での学習時間が少なく、テレビやゲームをしている時間が長い傾向があることから、家庭学習の質や量、教員の点検の在り方、小中学校の連携した指導についての改善、家庭への啓発を図ること。
- 携帯電話やスマートフォンの利用時間が中学校では県平均を下回っているものの、小学校では利用時間が県平均よりも長くなっている。家庭と連携しながら適切な利用について働きかけること。
- 小中学校とも、授業の目標・まとめなどの授業づくりの基礎について児童生徒が行っていると回答していることから、教員の授業力の向上の取組は一定の成果を挙げていると考えられるため、取組を継続するとともに、質を高めるよう働きかけること。